

大会開催にかかる申し合わせ事項

選手以外の大会に関わる全ての人は、IDカードを必ず身につけること。ない場合は入場不可とする。

【学連の対応】

＜試合会場での対応＞

1. 各試合間には60分の間隔を設け、1会場最大5試合までとする。
2. **無観客試合とする**。ただし、事前に申請がある日本リーグ関係者（以下、スカウト）は除く。
3. **試合会場入場時に**、学連役員、審判員、チーム役員・選手等、全ての者を対象として、**非接触型体温計（以下、体温計）による検温、消毒液による手指消毒を実施する**。なお、体温が37.5度以上の者は、試合会場への入館を許可しないものとする。（試合への出場（登録）を不可とする。）
4. コートの他、アップ会場、更衣室等、使用する部屋等は、可能な限り常時換気を行う。
5. 前試合ハーフタイム時のコート使用は、これを不可とする。
6. **各試合終了後に**、試合会場やコート等の扉（取っ手）、ベンチ、オフィシャル席、ゴールポスト、試合補助道具等（モッパの椅子、モップの柄等む）の**消毒を実施する**とともに、コートは最大限の換気を行う。
7. **当該日の日程終了次第**、コートの他、アップ会場、更衣室等、使用する部屋等、**可能な限り消毒を行う**。

＜消毒液等＞

試合会場で使用する消毒液（噴霧式ボトル含む）、ふき取り用のペーパータオルは、学連が購入し、準備する。この消毒液は、学連が消毒する際に使用するものなので、**次項の【参加チームの対応】で待機場所等を消毒する際に使う消毒液は、各チームで用意すること。**

【参加チームの対応】

各チームが定める「練習再開のガイドライン」「感染対策」を遵守することを原則として、以下のとおりとする。

＜試合会場での対応＞

1. **試合会場内では、常時マスクを着用すること**。ただし、試合時間内は、審判員、試合出場者は例外とする。
2. **試合会場への入場は**、各チームとも、秋季リーグ戦参加登録者のうち、**役員5名以内、選手25名以内、登録外トレーナー2名以内**とする。入場の際は、**必ず**検温及び手指の消毒を実施する。また、**日本協会登録証を必ず持参すること**。ない場合は入場不可とする。
3. 自チーム以外の選手等と接触しないよう心がけること。また、観客席等では、ソーシャルディスタンスに配慮して対応すること。**チームごとのゾーニングを行うので、必要以外はその範囲内で行動すること。**
4. ベンチ登録外選手による観客席からの**大声を出して**の応援は禁止とする。マスクを着用すること。

＜試合コートでの対応＞

1. 自チーム間であっても、ハイタッチ等の**手のひらでの**接触は避けること。
2. ベンチの役員は、マスクを着用すること。
3. ハーフタイム時、および試合終了時に、自チームが使用していたベンチを消毒すること。
4. 試合終了後に、試合球を消毒すること。

＜更衣、コート外アップでの対応＞

1. 更衣室を使用した後は、適宜消毒すること。なお、シャワー室の使用は禁止する。
2. 次の試合のチームは、前の試合が行われている間に更衣を済ませ、それぞれ別の場所で前の試合が終了するまで待機（会場により指定あり）すること。なお、待機終了後、試合会場に移動する際は、待機場所を消毒すること。